

ADESSO

フォトフレーム電波時計

MODEL: C-8139

取扱説明書・保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

製品の特徴

- 時刻合わせをする必要がありません。正確な時刻情報(日本標準時)及びカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、正しい時刻、カレンダーを表示する電波時計です。
- 電波を受信出来ない場合でも、手動にて時刻、カレンダーを合わせることで、通常のクォーツ時計としてお使いいただけます。
- アラーム・スヌーズ機能付き。
- お気に入りの写真を入れ、お楽しみ頂けるフォトフレーム付。
- 東西電波(福島・九州)を自動選局。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

福島県の大鷹鳥谷山(おおたかどややま)標準電波送信所(周波数40KHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60KHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。

通常は東日本では東局(周波数40KHz)西日本では西局(同60KHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。

※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。停波に関する情報は、「通信総合研究所」のホームページに掲載されています。

ホームページアドレス <http://jjy.crl.go.jp>

※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±30秒の精度で計時します。

●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計本体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。

次のような場所・時間では正確に受信できないことがあります。

①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。

②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。

- ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
- ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。

③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。

- ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。

④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)

⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。

⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。



機能ボタン(本体裏面)について

- SNOOZE** :アラーム音が鳴っている時、このボタンを押すと音は止まり、4分後に再び鳴り出します。この機能が働いている時には の右側に が現れます。スヌーズ機能を解除するにはアラーム解除と同じです。
- RECEIVE** :受信テストのための信号を受信する場合に、このボタンを押します。最初の30秒間に信号強度インジケータが、良好な信号品質を示していれば、時計をその場所に固定します。示していない場合は、時計を別の位置に置き、もう一度このボタンを押します。受信は6~12分経つと自動的に切れます。
- ADJUST** :通常時計表示状態の時にこのボタンを押すと、月日表示と年表示が替わります。アラーム時間モードの場合は、このボタンを押すことで、アラームON→スヌーズON→アラームOFFに替わります。
- SET** :通常時計表示状態の時にこのボタンを押すと、12時間表示と24時間表示が交互に替わります。設定モードの時には設定項目を一つづつ設定して行きます。
- MODE** :通常時計表示状態の時にこのボタンを押すと、月日表示とアラーム設定時間表示が切り替わります。

操作方法

●電池を入れる

(i)本体裏面の電池プタをはずします。単4乾電池×1本を+を間違えないように入れ、電池プタをしめてください。

(ii)電子音が鳴り、自動的に標準電波の受信を開始します。

万一表示もしくは動作に異常がある場合は裏面機能ボタン下にあるリセット用の小穴をハリガネ等で押してください。

●時刻カレンダーの合わせ方

(i)電池を入れると マークが点滅して、標準時間の受信を開始します。自動的に電波を受信し時刻カレンダーを合わせます。受信に成功すると受信マークが点灯して、時間、秒、カレンダーが正しく表示されます。

(ii) マークが点灯しない場合は電波が届いていない事を示します。受信に失敗すると マークは表示されなくなり、正確な時刻カレンダーに修正されません。

(iii)受信ができない場合は、場所を変えてもう一度やり直してください。(電波クロックについての使用場所の項をご参照ください。)

(iv)地域環境条件によっては受信不調により受信に時間がかかる場合があります。夜間は受信状態が悪くなる為、一昼夜そのままにして様子を見てください。

●信号強度インジケータ

電波時計が問題なく信号を受信すれば、同調マーク が画面に表示されます。このマークが出れば、時計は、時間信号発信器と同調された状態になっています。うまく同調がとれていない場合は、LCD表示から、このマークが消えてしまいます。

注意:受信ボタンを押して(強制受信)、手動で時間信号を受信しても構いません。受信モードは、6～12分経過すれば、自動的にオフとなります。受信モードは、電池の消費量が大きく、電池の寿命を縮めてしまうことがありますので、注意してください。

アラーム機能・スヌーズ機能について

- ① **MODE** ボタンを押して液晶画面右下部分をアラーム時間表示状態にしてください。
- ②次に **SET** ボタンを押し続けますと、『時』の数字が点滅します。**ADJUST** ボタンを押して『時』の数字を合わせてください。
- ③ **SET** ボタンを押すと『時』の数字が確定され、『分』の数字が点滅します。前項同様に **ADJUST** ボタンを押して『分』の数字を合わせてください。
- ④最後に **MODE** ボタンを押してセット完了です。
※アラームON/OFFはアラーム時間モードの時に、**ADJUST** ボタンで切替ができます。
※アラームがONの時は  マークが時刻表示の秒の上部に表示されます。
※アラーム音を止めるには、**MODE** ボタンを押してください。その他のボタンを押すことで止める事ができます。
- ⑤スヌーズ機能を作動させたい場合には、**ADJUST** ボタンを押してください、これにより  マークの右隣に  マークが表示され、作動することが確認できます。
- ⑥スヌーズ機能はアラームが鳴って **SNOOZE** ボタンを押すと、一旦アラーム音が止まり、4分後に再び鳴らすことが出来る機能です。
- ⑦スヌーズ機能は4分毎に4回アラームが鳴り、作動は終了します。そのままの状態におきますと、翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。

電波受信できない場合の時刻合わせ方法

- 標準電波を受信できない場合は、手動で時間、カレンダーを合わせてください。
- ① **MODE** ボタンを押してください。(日付表示機能になるまで押してください)
 - ②セットボタンを押し続けると『時』の数字が点滅します。**ADJUST** ボタンを押して『時』の数字を合わせてください。その後、**SET** ボタンを押すことにより『時』の数字が確定されます。
 - ③次に『分』の数字が点滅していますので、前項同様にして『分』の数字を確定させてください。
 - ④『分』が確定した後、『秒』が点滅します。**ADJUST** ボタンを押すと、『秒』が00からスタートします。同様に『秒』の数字を確定させてください。
 - ⑤次に、『月』の数字が点滅していますので、同様に『月』の数字を確定させてください。
 - ⑥確定された後に『日』の数字が点滅していますので、『日』の数字を合わせてください。
 - ⑦『日』を確定させると西暦『年』が点滅しますので、同様に確定させてください。
 - ⑧最後に **MODE** ボタンを押して手動設定完了です。これにより、地下室等々の電波信号が届かない場所でも、通常のクォーツ時計としてご使用になれます。

フォトフレームの写真取替方法

- 本体の正面から見て右側、裏面から見ると左側に“PULL”マークの正面寄りに半円形の手掛け部分があります。
- この部分に爪先を引掛けて写真台座部分を引出して下さい。
- セットされている写真をご希望の写真にお取替え下さい。(写真サイズは90mm×127mm)
- 写真押さえの厚みに限度がありますのでご注意ください。

電池について

- アラーム・スヌーズ機能は電池の消耗が激しいので、アルカリ電池のご使用をおすすめします。

- 電池が消耗すると表示が薄くなるなど、正確に作動しなくなりますので、新しい乾電池と交換してください。電池ブタを開けて＋を正しくセットしてください。
- ※付属の電池は、工場出荷よりテスト用として入れられているモニター電池です。
- ※電池交換をした時は必ず、RESET小穴にクリップの先などで押して初期設定状態にして、再度時刻のセットをしてください。

製品仕様

受信電波:JJY(長波標準電波)、周波数40KHz(東局)/60KHz(西局)
使用温度範囲:0℃～+50℃
時計精度:平均月差±30秒(電波による時刻修正を行わない場合)
電波受信機能:40/60KHz切替受信
使用電池:1.5V単4形×1本
電池寿命:約1年(機能ご使用状況により異なります)
時刻表示:12時間／24時間制表示
アラーム:電子音アラーム

ご使用上の注意

- 電池が消耗しますと、時間が合わなくなったり止まりが生じます。また、電池の取り替えが遅れますと、漏液の恐れがあるもあり、故障の原因となる場合もあります。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。時計が止まることがあります。
- 振動、ホコリ、湿気などは避けてお使いください。また、直射日光の当たる所(とくに自動車の中など)や、連続的にアーク(火花)のするような機器(電気ドリル、大型ミキサー、ポンプ、送風機など)の近くに時計を置いたり掛けたりすると変形や時間誤差の原因になる恐れがありますので避けてください。
- ケースを分解して内部の機械に触れたりしないでください。時間が狂ったり、故障の原因になります。
- ケースなどの汚れは、石鹸水を浸した布を固く絞って拭き取ってください。スプレー式のクリーナーやシンナー、ベンジンなどは絶対に使わないでください。ケースの変色や故障の原因となります。